

令和2年度季節的就労に係る実態調査集計報告

(調査期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

今冬の雇用保険特例受給資格者を対象に、ハローワーク千歳ご協力のもと「季節的就労に係る実態調査」を実施しました。収集データを基に、より実効性の高い通年雇用支援事業の策定や季節労働者の雇用対策に活用することを目的としています。

調査方法は季節労働者の雇用保険特例一時金受給手続きの際に、ハローワーク千歳就職相談担当者から恵庭市在住の季節労働者に季節就労に係る実態調査の配布を行い、失業認定出頭の際にハローワーク千歳失業認定担当者が調査票を回収し、恵庭市通年雇用促進協議会が集計・分析を行いました。集計結果は以下の通りです。

令和2年度の恵庭市在住季節労働者609人のうち(ハローワーク千歳調べ)311人(以下「回答者」と言う。)の回答を得ることができた。回答率は令和2年度恵庭市在住の季節労働者全体の51.0%と半数に達した。前年度と比較して60歳以上の回答率が増加しており、季節労働者の高齢化が年々顕著になっている。

① 回答者311人の年代別一覧

〈表01〉

項目	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
男性	2	4	12	16	36	19	122	211
女性	0	3	4	14	27	16	36	100
全体	2	7	16	30	63	35	158	311

◆ 回答者の性別構成は、男性211/311人(67.8%)女性100/311人(32.2%)であった。(表01参照)。また、主な就労先の業種は、建設業・ゴルフ場・農業系の3業種で258/311人(83.0%)を占めた。(表02参照)。

② 回答者311人の年代別季節就労先業種一覧

〈表02〉

季節就労業種	30歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
建設業	2	8	13	19	20	41	103
ゴルフ場	1	2	4	24	15	59	105
農業・園芸・林業	2	4	8	11	0	25	50
その他業種	4	2	5	9	0	33	53
未回答	0	0	0	0	0	0	0
全体	9	16	30	63	35	158	311

◆ 回答者の高齢化が顕著になっている。令和2年度のアンケート調査では、60歳以上の回答者は全回答の62.1%を占めた。(図3参照)若年季節労働者の回答が少ないことも挙げられるが、いまや中高年齢季節労働者の意見と実態が、季節労働者を知る上での主軸と言っても過言ではない。

アンケート回答を参考にして支援事業の講習メニューや受講期間の見直しを行いながら、若年世代と高齢世代の支援事業参加に向けた取り組みが必要である。

③ 回答者311人の通年雇用化意識【業種別】

【通年雇用化勤務希望の有無〈性別・業種別〉】

〈表03〉

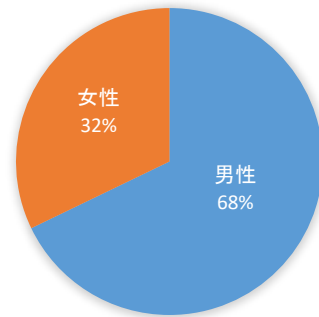
項目	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農林業	その他	未回答	合計
希望する	78	18	41	20	15	20		96
希望しない	50	36	14	46	12	14		86
どちらとも言えない	63	39	32	38	22	10		102
その他	1	1	1	0	1	0		2
未回答	19	6	6	4	6	9		25
合計	211	100	94	108	56	53	0	311

【通年雇用化勤務希望の有無〈性別・年代別〉】

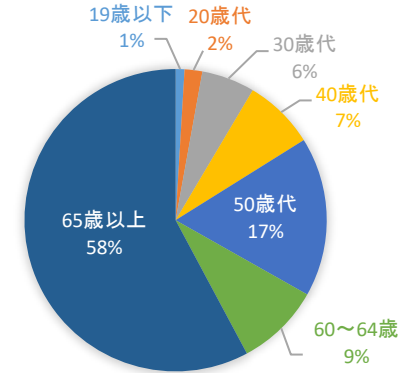
〈表04〉

項目	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	65歳未満	65歳以上	合計
希望する	78	18	1		4	13	26	13	39	96
希望しない	50	36	1	1	1	1	15	10	57	86
どちらとも言えない	63	39		3	11	12	20	10	46	102
その他	1	1		1					1	2
未回答	19	6		2		3	2	2	16	25
合計	211	100	2	7	16	29	63	35	159	311

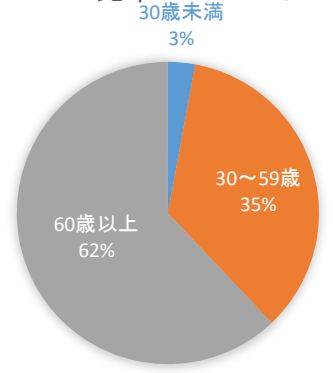
調査回答者の性別比率
〈図01〉



調査回答者の年代別比率
〈図02〉



回答季節労働者の世代別分類比率
〈図03〉

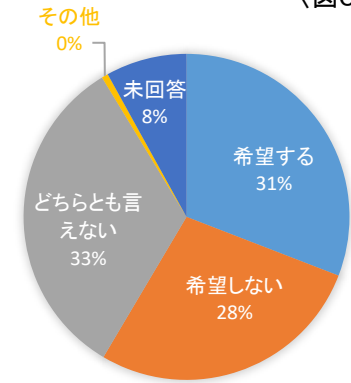


◆ 通年雇用化意識調査において「通年雇用を希望する」回答者は96/311人(30.9%)であり、令和元年度調査時よりも2.0ポイント減少した。(表03参照)

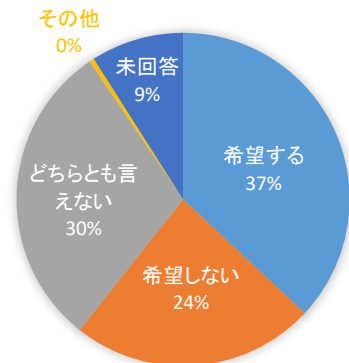
また、通年雇用化を希望する回答者が希望しない回答者を3.2ポイント上回った。季節労働者の高齢化が進み、自らの希望で通年雇用化よりも同一事業所に季節的反复就労する者が増加する傾向が見られる。業種別では建設業での通年雇用化を望む回答者が多く、他方ゴルフ場では通年雇用化を望まない回答者が目立つ。性別でも同様に女性季節労働者の通年雇用化を望む者は、男性季節労働者よりも19.0ポイント減少する。ゴルフ場での通年雇用化は業務上困難に近いため、通年雇用化勤務を諦めている、または扶養の範囲内で就労する回答者も多く、通年雇用化を望まにでないものと思われる。

令和2年度季節労働者実態調査研究事業

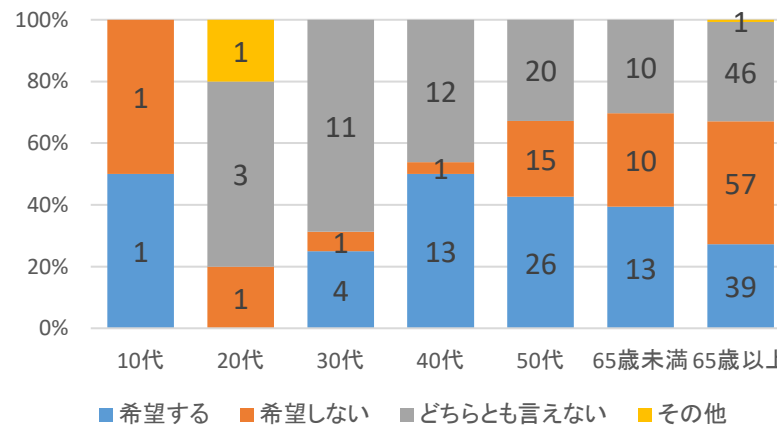
回答者の通年雇用化勤務について(全体) <図04>



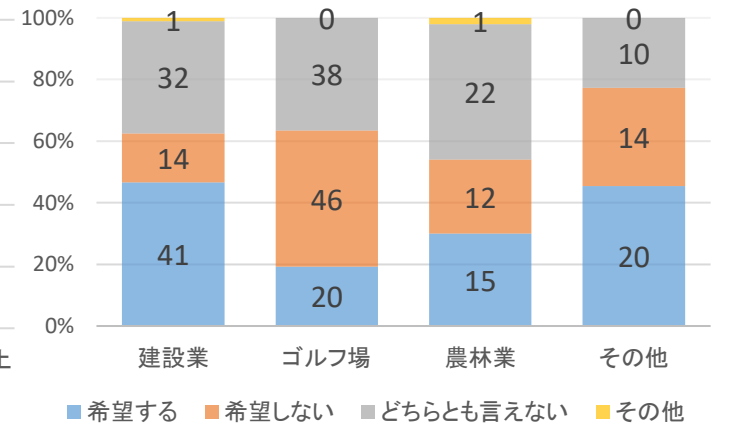
回答者の通年雇用化勤務について(男性) <図05>



回答者の通年雇用化勤務について(年代別比率) <図06>



通年雇用化勤務について(業種別比率) <図07>

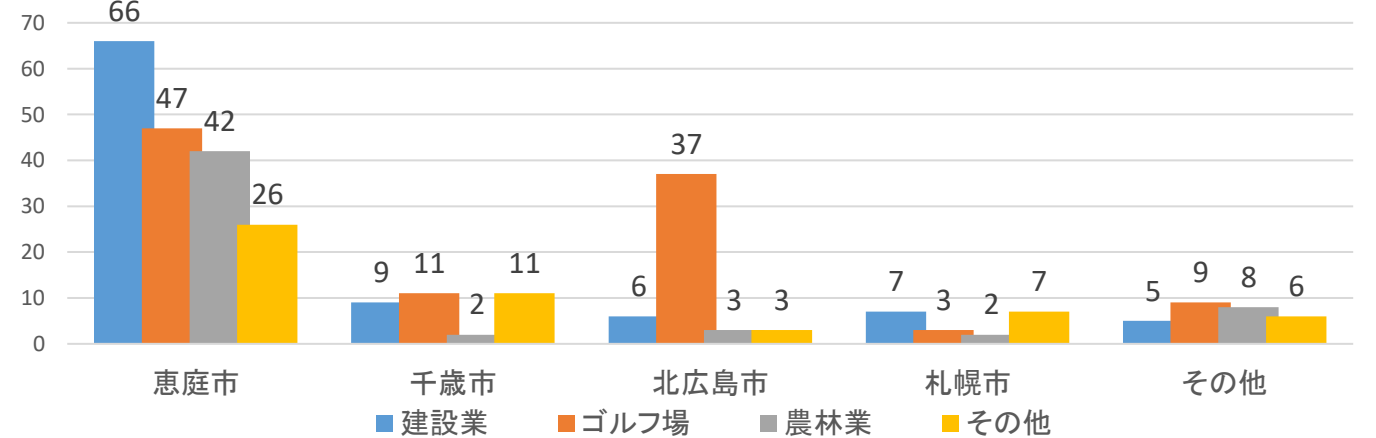


④ 回答者311人の季節就労勤務先所在地と業種

<表05>

企業所在地	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農林業	その他	合計
恵庭市	112	69	66	47	42	26	181
千歳市	28	5	9	11	2	11	33
北広島市	26	23	6	37	3	3	49
札幌市	17	2	7	3	2	7	19
その他	27	1	5	9	8	6	28
不明	1	0	1	0	0	0	1
合計	211	100	94	107	57	53	311

回答者が就労する事業所の市町村業種比率(不明を除く:310名) <図08>

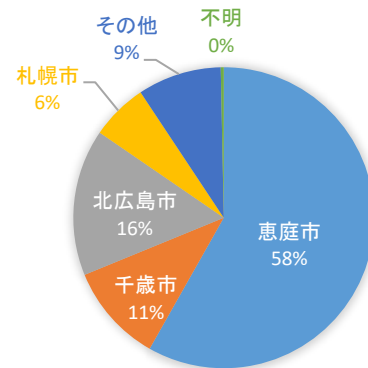


◆ 回答者うち181/311人(58.2%)の、勤務先所在地が恵庭市内にあると回答した。また、令和2年度は令和元年度調査時に比べて、3.5ポイント減少した。<図9参照>

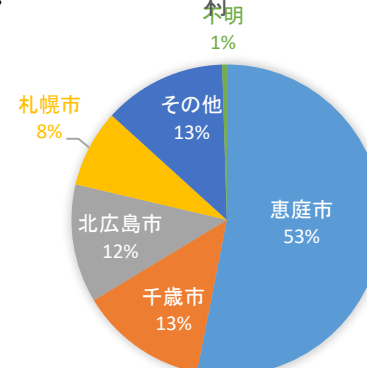
◆ 男性回答者211人のうち、53.0%の回答者が恵庭市内の企業に就労している。うち建設業31.3%が従事している。<図10参照>

◆ 女性回答者100人のうち、69.0%の回答者が恵庭市内の企業に就労している。男性回答者よりも地元志向が強い。うち、ゴルフ場と農業関係が大半を占めた。地元で女性季節労働者が就労しやすい事業所が多い表れである。同様に千歳市や北広島市の事業所についても多くがゴルフ場である。遠方でも送迎可能な企業への就労が目立つ。<図11参照>

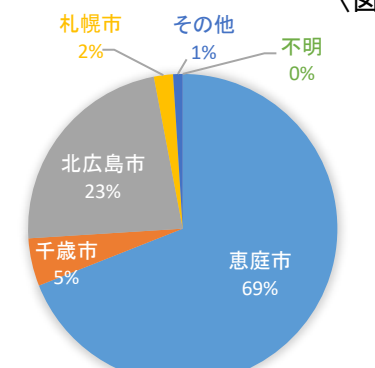
回答季節労働者の就労先地町村 <図9>



男性季節労働者の就労先市町村 <図10>



女性季節労働者の就労先市町村 <図11>



⑤ 回答者311人の雇用契約満了日(離職時期:年代別)

〈表06〉

項目	4月	5月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	不明	合計
10代							1			1		2
20代					1	3	3					7
30代						5	6	2	2	1		16
40代					2	13	12	1	2			30
50代					3	37	19	2	1	1		63
65歳未満				1	3	19	4	2	1	4	1	35
65歳以上	5	4	1	1	16	75	39	4	8	5		158
合計	5	4	1	2	25	152	84	11	14	12	1	311

⑥ 回答者311人の雇用契約満了日(業種別)

〈表07〉

項目	4月	5月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	不明	合計
建設業	1		1		3	10	52	8	8	11		94
ゴルフ場					7	95	4				1	107
農林業				2	13	29	9	1	3			57
その他	4	4			2	18	19	2	3	1		53
合計	5	4	1	2	25	152	84	11	14	12	1	311

◆ 回答者311人の離職月(契約満了日)について、多くのゴルフ場がクローズ日を予め決めていたため、ゴルフ場従事者の離職が11月に集中している。(図12~13参照)

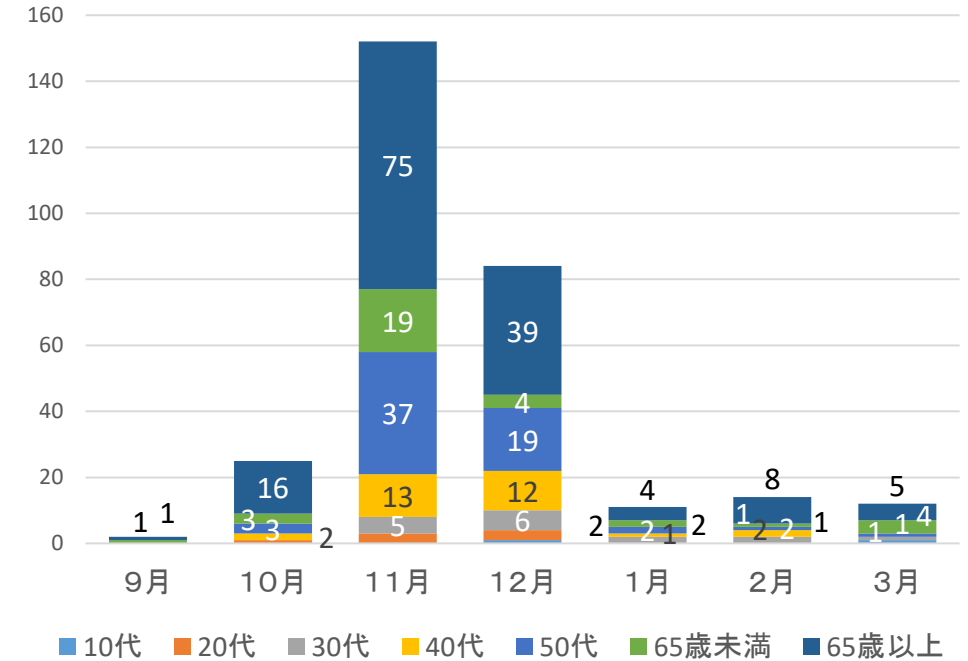
高齢者等の離職は10月から始まっている。建設業は年々工事の終了が年度末へと近づいているが、高齢者や普通作業員を優先に12月に離職が多くなっている。また季節的警備業が雇用期間満了を迎えるのは、除雪作業が終了した3月に集中している。4~5月に65歳以上の季節労働者が多数離職したのは、交通警備業(除雪作業)である。11月~12月の2か月間で回答季節労働者

◆ 回答者のうち10月~12月に261/310人(不明回答を除く)(84.2%)が離職すると回答した。(表06参照)

◆ 回答者311人の冬期間の過ごし方では、168/277人(不明を除く)60.6%が冬期間も就労する意思があると回答した。冬期間も引き続き就労したいと回答した(図14参照)。短期就労者のうち同じ会社でアルバイトする人は37/277人(13.4%)、違う会社でアルバイトする人(予定を含む)は37/277人(13.4%)と同率であった。(表8、図14参照)33.8%の季節労働者が求職中である結果となった。他方、就労しないと回答した季節労働者は90/277人(32.5%)に達した。特に65歳以上の42.5%が就労しないと回答した。(表8参照)

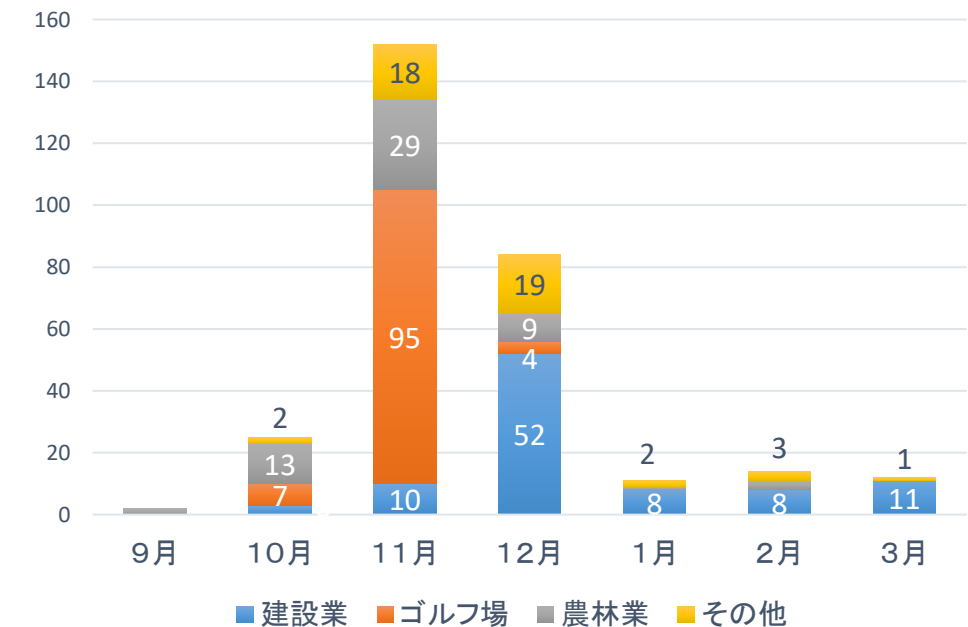
回答季節労働者の離職月(9~3月抜粋)

〈図12〉



回答季節労働者の業種別離職月比率(9~3月抜粋)

〈図13〉



令和2年度季節労働者実態調査研究事業

⑦ 回答者311人の冬期の過ごし方【年齢別性別比較】
【冬期間の就労に就いて:年代別】

〈表08〉

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65歳以上	合計
就労しない	1	1	4	8	7	12	57	90
冬期間の求職活動		2	4	10	27	6	32	81
別会社でアルバイト(決定)			1	2	6	5	10	24
同じ会社でアルバイト		1	2	6	11	2	15	37
次年度に向けた就職活動	1	2	3		3		15	24
別会社でアルバイト(予定)		1	1	2	3	3	3	13
本州等へ出稼ぎ					2	1		3
その他			1		1	1	2	5
未回答				2	3	5	24	34
合計	2	7	16	30	63	35	158	311

⑧ 回答者311人の冬期の過ごし方【業種別比較】
【冬期間の就労に就いて:業種別】

〈表09〉

項目	建設業	ゴルフ場	農林業	その他	未回答	合計
就労しない	28	29	17	16	0	90
冬期間の求職活動	14	37	18	12	0	81
別会社でアルバイト(決定)	1	19	3	1	0	24
同じ会社でアルバイト	23	3	3	8	0	37
次年度に向けた就職活動	8	5	6	5	0	24
別会社でアルバイト(予定)	2	8	3	0	0	13
本州等へ出稼ぎ	3	0	0	0	0	3
その他	2	2	0	1	0	5
未回答	13	5	6	10	0	34
合計	94	108	56	53	0	311

⑨ 回答者104人の冬期間帯域就労職種
【冬期間の就労に就いて:職種別】

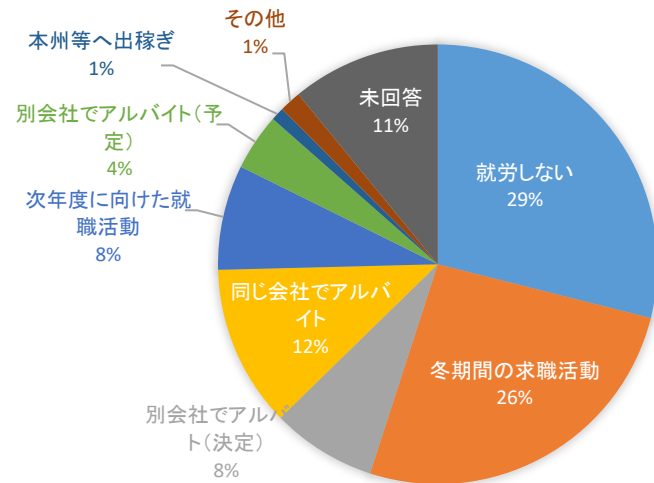
〈表10〉

項目	建設業	ゴルフ場	農林業	その他	合計
除雪作業員	11	12	2	1	26
建設作業員	23	0	0	1	24
食品製造業工員	1	11	2	0	14
非食品製造業工員	0	1	0	1	2
物流・運送作業員	0	4	3	1	8
介護職員	0	1	0	0	1
販売員	0	2	0	3	5
その他	0	10	4	10	24
合計	35	41	11	17	104

◆ 冬期間の就労を職種別にみると、除雪作業員が26/104人(25.4%)を占めた。(表10参照)建設作業員と回答した季節労働者も22人いたが、ほとんどが建設機械オペレーターであることから、除雪業務に携わっていることがうかがえる。(図15参照)また、ゴルフ場からの除雪作業員就職数が12/41人(29.3%)建設業を上回っている。ゴルフ場で働く男性季節労働者の3割が冬期間は除雪作業員の職に就いている。他方、ゴルフ場から11/41人(26.8%)が食品製造工員の職に就いている。

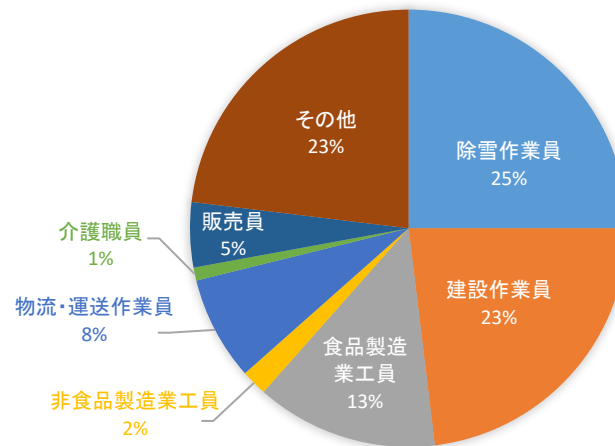
回答季節労働者の冬期の過ごし方

〈図14〉

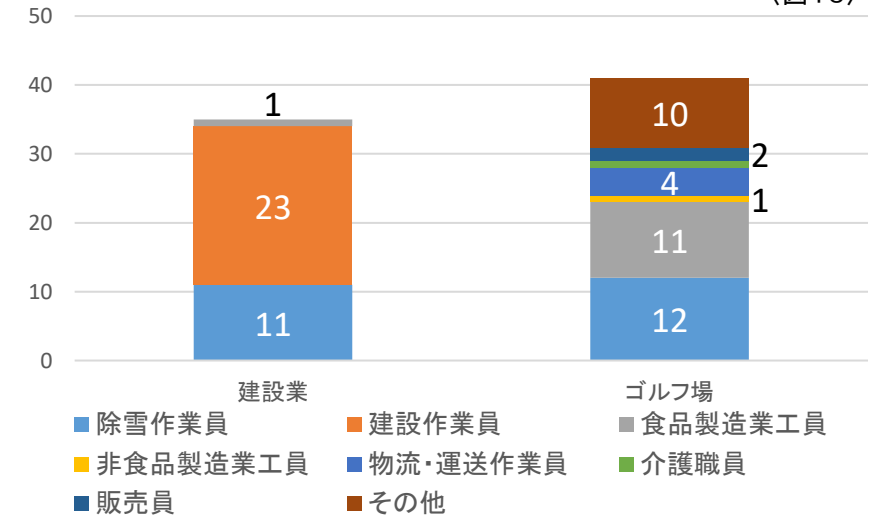


回答季節労働者の短期就労職種

〈図15〉



建設業とゴルフ場季節労働者の冬期短期就労先 〈図16〉



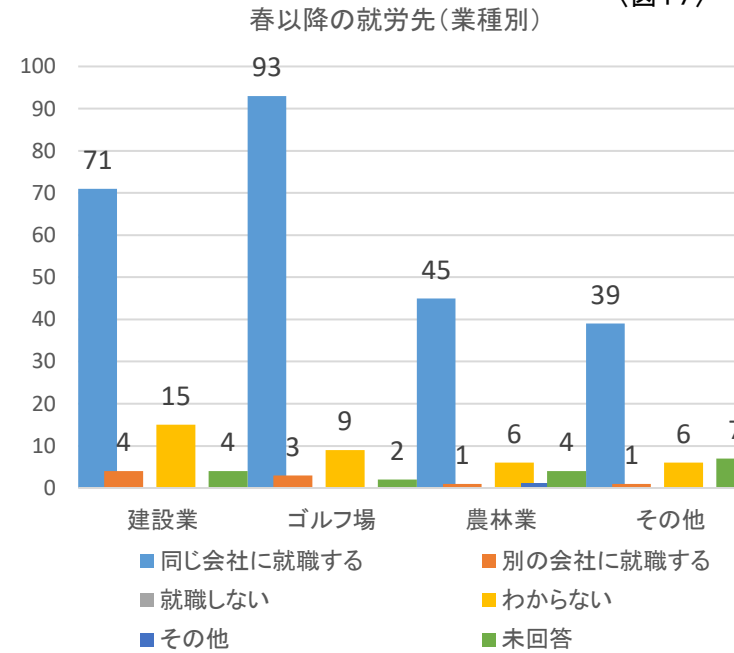
⑩ 回答者311人の春期以降の就労に就いて【業種別比較】

【春以降の就労に就いて：職種別】

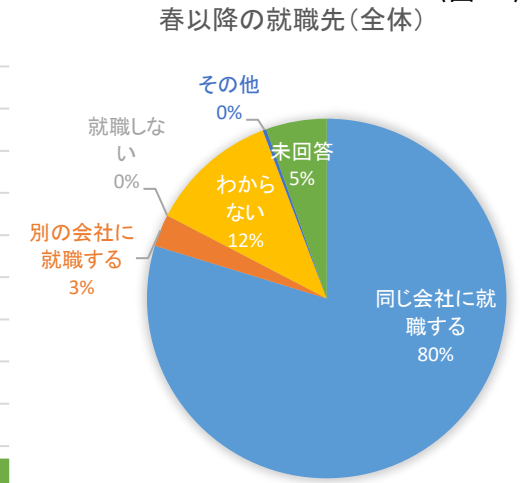
〈表11〉

項目	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農林業	その他	合計
同じ会社に就職する	176	72	71	93	45	39	248
別の会社に就職する	7	2	4	3	1	1	9
就職しない	0	0	0	0	0	0	0
わからない	20	16	15	9	6	6	36
その他	1	0	0	0	1	0	1
未回答	7	10	4	2	4	7	17
合計	211	100	94	107	57	53	311

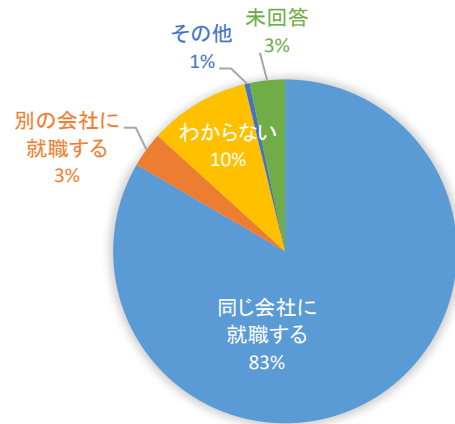
〈図17〉



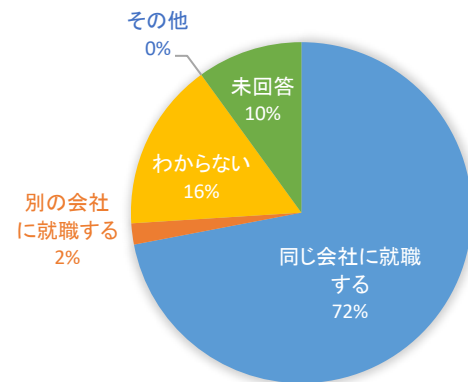
〈図18〉



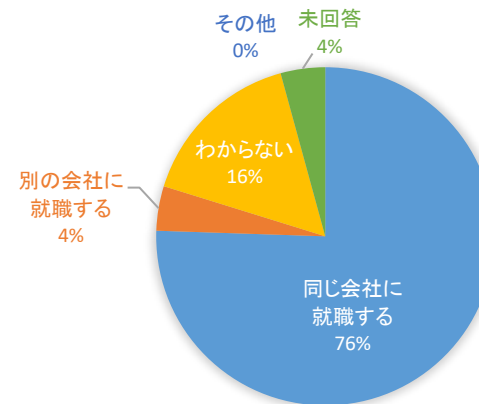
春以降の就労先(男性) 〈図19〉



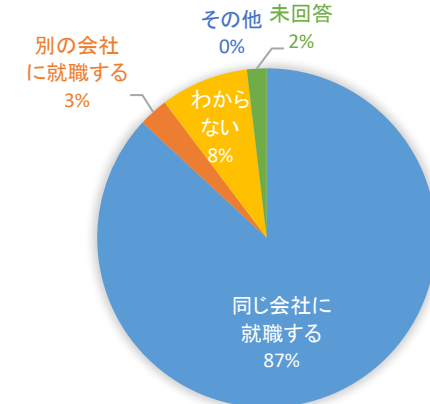
春以降の就労先(女性) 〈図20〉



うち建設業へのリターン比率 〈図21〉



うちゴルフ場へのリターン比率 〈図22〉



◆ 次年度の就労先について、248/311(79.7%)が昨年度と同一の会社と回答した。〈図19参照〉通年雇用勤務歴の長い回答者ほど、毎年同じ企業への就労を繰り返している。特に女性季節労働者のリピート就労が顕著であり、ゴルフ場勤務では男女合わせて93/107人となり86.9%を占めた。〈図22参照〉

建設業もリピート就労が多く、71/94人(75.5%)を占めた。〈図21参照〉2つの業種とも中高年齢季節労働者が多く、ゴルフ場や建設業の就業年齢も高めを推移している。ゴルフ場では全回答者の70.5%が60歳以上の季節労働者である。同様に建設業では、全回答者の59.2%が60歳以上の季節労働者であった。〈表02参照〉他方、近年は企業の人材確保策として、若年者は常用雇用勤務での採用が多くなっており、中高年齢季節労働者通年雇用化は今後さらに難しくなることが予想される。

令和2年度季節労働者実態調査研究事業

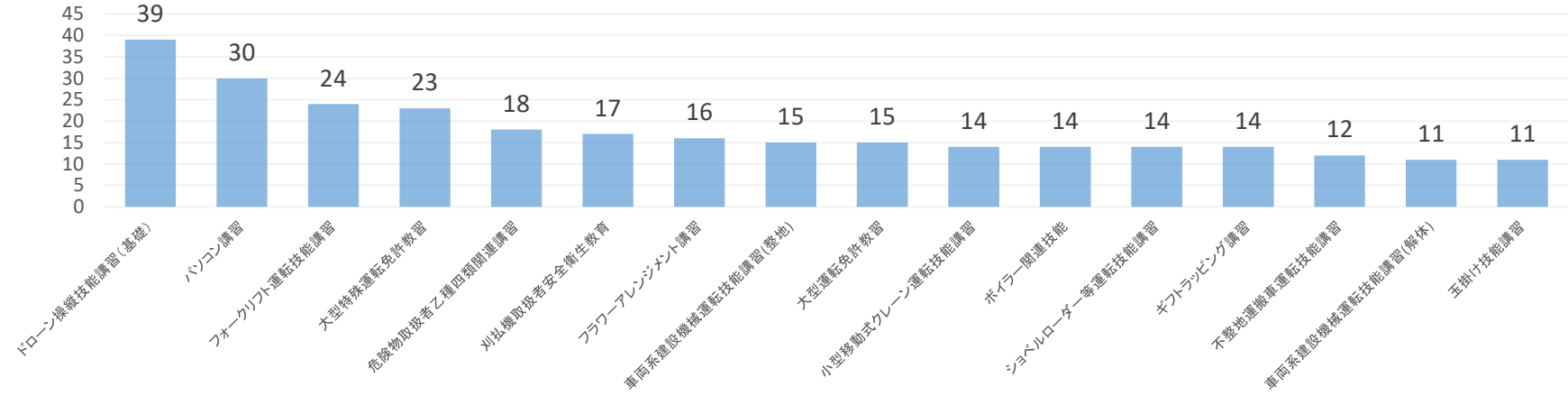
⑪ 回答者311人が希望する通年雇用促進支援事業(セミナー・技能講習等)

〈表12〉

ドローン操縦技能講習(基礎)	39
パソコン講習	30
フォークリフト運転技能講習	24
大型特殊運転免許教習	23
危険物取扱者乙種四類関連講習	18
刈払機取扱者安全衛生教育	17
フラワーアレンジメント講習	16
大型運転免許教習	15
車両系建設機械運転技能講習(整地)	15
小型移動式クレーン運転技能講習	14
ボイラー関連技能	14
ギフトラッピング講習	14
ショベルローダー等運転技能講習	14
不整地運搬車運転技能講習	12
玉掛け技能講習	11
車両系建設機械運転技能講習(解体)	11
外国人接客接客講習	10
アーク溶接特別教育	10
中型運転免許教習	10
ガス溶接技能講習	9
高所作業車運転技能講習	8
接客外国語講座	8
職長・安全衛生責任者講習	8
けん引運転免許教習	7
新伐木の取扱業務特別教育	6
普通2種免許教習	6
大型2種免許講習	5
ローラーの運転特別教育	4
福祉有償運送運転者講習	3
フルハーネス装着作業特別教育	3
地山掘削作業主任者講習	3
介護職員初任者研修	3
2級土木施工管理技士(3日間)	3
合同企業説明会	3
電気工事士	2
ドローン操縦技能講習(経験者)	2
コンクリート解体作業主任者講習	2
足場組立作業主任者講習	2
型枠支保工作業主任者講習	2
全身性移動介護従業者講習	2
2級土木施工管理技士(28日間)	2
2級建築施工管理技士	2
足場組立解体特別教育	1
有機溶剤取扱者安全衛生教育	1
はい作業主任者講習	1
2級建設機械施工管理技士	1

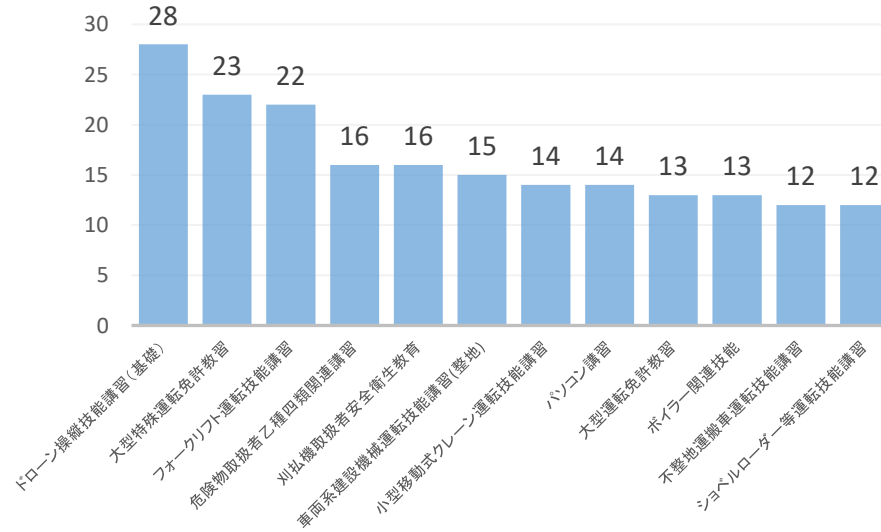
回答季節労働者が希望する事業

〈図23〉



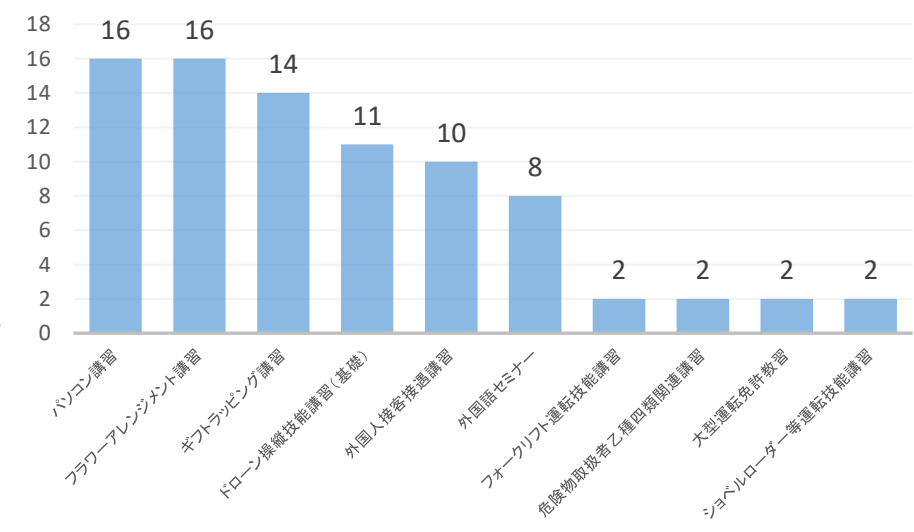
男性季節労働者が希望する事業

〈図24〉



女性季節労働者が希望する事業

〈図25〉



◆ 〈表12〉は回答者12名以上が希望する講習である。令和元年度と同様に、ドローン操縦技能講習(基礎編)が1位の座についた。〈図23参照〉また65歳以上の回答者の多くが支援事業のイベントに興味を示めさなかった。イベントに興味を示さない回答者150人のうち、65歳以上の高齢者の割合は55.0%であった。

◆ 男性回答者の希望講習第1位はドローン操縦技能講習(基礎)であり、28/211人(13.3%)が希望するとの回答結果であった。

◆ 女性回答者は100人と少ないが、パソコン講習、フラワーアレンジメント講習共に16/100(16.0%)が希望した。

◆ 男性では建設機械運転技能講習の希望が多い。ショベルローダー等技能講習を希望する回答者が12人いるが、多くは車両系建設機械(整地)と錯誤しているものと思われる。女性ではフラワーアレンジメントとギフトラッピング講習が多く、そして男女ともにパソコン講習とドローン基礎トレーニングを希望する回答者が多かった。69/311人(22.2%)次年度に向けては、パソコン講習の再開についても検討しなければならない。

以上